

委託訓練カリキュラム

訓練科名	保育士資格コース		就職先の職務・仕事	保育園、障がい児(者)施設、児童養護施設・乳児院、学童保育所等			
訓練期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日(24か月)						
訓練目標	大阪府知事の指定する保育士を養成する学校において、保育士養成課程のカリキュラムを中心に、座学での知識習得と実践に即した技術を習得し、保育に関する専門的知識と技能を習得する。						
仕上がり像	保育士資格(国家資格)を有する専門的な人材として、保育所や児童福祉施設等において正職員として就職して活躍できる人材。						
系列	形態	科目の内容	科目	単位	時間		
必修科目	保育の本質・目的に関する理解	講義	保育原理について学ぶ	保育原理	2	30	
		講義	教育原理について学ぶ	教育原理(制度・経営的事項を含む)	2	30	
		講義	子どもを取り巻く社会情勢と福祉について学ぶ	子ども家庭福祉	2	30	
		講義	社会福祉について学ぶ	社会福祉	2	30	
		講義	家庭支援について学ぶ	子ども家庭支援論	2	30	
		講義	社会的養護の意義やしきみについて学ぶ	社会的養護Ⅰ	2	30	
		講義	保育士の役割、責務、専門性、倫理について学ぶ	教職論	2	30	
	保育の対象の理解に関する科目	講義	発達のとらえ方、道筋、保育のあり方について学ぶ	発達心理学	2	30	
		講義	保育における発達援助と家庭支援について学ぶ	子ども家庭支援の心理学	2	30	
		演習	保育・教育相談へ対応するための知識や技術を学ぶ	子どもの理解と援助	1	16	
		講義	子どもの健康問題について学ぶ	子どもの保健Ⅰ	2	30	
		演習	子どもの食と栄養について学ぶ	子どもの食と栄養	2	30	
	保育の内容・方法に関する科目	講義	保育の計画と評価について学ぶ	教育課程論	2	30	
		演習	保育の全体的な構造を学ぶ	保育内容(総論)	1	30	
		演習	保育内容の表現形態・方法・環境・人間関係などについて学ぶ	保育内容(表現)	1	30	
				保育内容(言葉)	1	30	
				保育内容(環境)	1	16	
				保育内容(人間関係)	1	30	
				保育内容(健康)	1	16	
				乳児保育Ⅰ	2	30	
				乳児保育Ⅱ	1	16	
		講義	乳児保育について学ぶ	乳児保育Ⅰ	2	30	
		演習	より実践的で具体的な乳児保育の方法・内容を学ぶ	乳児保育Ⅱ	1	16	
		演習	保育における健康管理・保健活動の重要性を学ぶ	子どもの保健Ⅱ(健康と安全)	1	16	
		演習	障がい児保育について学ぶ	障がい児保育	2	30	
		演習	児童福祉施設で子どもたちに関わる際の専門的技術を学ぶ	社会的養護Ⅱ	1	16	
		演習	保育・教育現場における相談援助の在り方について学ぶ	子育て支援Ⅰ	1	16	
	演習	発達を理解するための知識と基本的なカウンセリング技術を学ぶ	保育・教育相談演習	1	16		
	演習	保育の基礎的な表現技術(音楽、造形、運動あそびなど)について学ぶ	総合表現	1	30		
			音楽Ⅰa(理論・声楽)	1	16		
			音楽Ⅱa(器楽)	1	30		
			造形Ⅰ	1	30		
			幼児体育Ⅰ	1	30		
	保育実習	実習	保育所、児童福祉施設での実習を行う	保育実習Ⅰa(保育所)	2	80	
		演習	保育実習Ⅰ事前準備、事後指導を行う	保育実習Ⅰb(児童福祉施設)	2	80	
	総合演習	演習	保育実践を通じて得た知識・技術について学ぶ	保育実習指導Ⅰa(保育所)	2	30	
				保育実習指導Ⅰb(児童福祉施設)	2	30	
	選択必修科目(必修3単位を含め9単位以上履修)	保育の本質・目的に関する理解	講義	地域福祉について学ぶ	地域福祉論	1	16
			講義	保育者として修得すべき子どもの権利に関する考え方を学ぶ	子どもの権利Ⅰ	1	16
			講義	「子どもの権利」を深く学び、現代社会の課題を検討する	子どもの権利Ⅱ	2	30
		保育の対象の理解に関する科目	講義	保育場面で発達を保障する方法について学ぶ	発達保障の探求	1	16
			講義	臨床心理学について学ぶ	臨床心理学	1	16
		保育の内容・方法に関する科目 保育の表現技術	講義	特別な教育的ニーズを持つ子どもの発達保障について学ぶ	特別なニーズを持つ子どもの教育	2	30
			演習	保育や幼児教育の専門職として子育て支援の必要性を学ぶ	子育て支援Ⅱ	1	16
			講義	子どもと教師をつなぐ教育方法の理論について学ぶ	教育方法論	2	30
			講義	子どもが行う学習活動について学ぶ	子どもと学習活動	2	30
演習			保育者に必要な家政学の知識と技術を実習を通して学ぶ	保育のための家政学演習	2	30	
講義			保育制度及び幼稚園を中心とする教育制度について学ぶ	教育・保育制度論	1	16	
演習			乳児院や児童養護施設の保育士の役割について学ぶ	社会的養護Ⅲ	1	16	
演習			保育の実践的な表現技術(音楽、造形、運動あそびなど)について学ぶ	音楽Ⅰb(理論・声楽)	1	16	
				音楽Ⅱb(器楽)	1	16	
				音楽Ⅱc(ピアノ発表会)	1	16	
				子どもと保育の音楽Ⅰ	1	16	
				子どもと保育の音楽Ⅱ	1	16	
演習			造形Ⅱ	1	30		
演習			幼児体育Ⅱ	1	16		
講義		リズム運動・民族芸能	1	16			
演習	野外保育の基本的な知識を学び、技能を習得する	子どもの遊びと文化Ⅲ(野外活動)	1	16			
演習	保育内容にそった教材の基本的な考え方と制作技術を習得する	子どもの遊びと文化Ⅳ(教材研究を含む)	1	16			
保育実習	実習	保育所での実習を行う	(必修)保育実習Ⅱ	2	80		
	演習	保育実習Ⅱの事前準備、事後指導を行う	(必修)保育実習指導Ⅱ	2	30		
	実習	児童福祉施設での実習を行う	保育実習Ⅲb(児童福祉施設)	2	80		
	実習	障がい児・者施設での実習を行う	保育実習Ⅲc(障がい児・者施設)	2	80		
	実習	児童館・放課後児童クラブでの実習を行う	保育実習Ⅲd(児童館・放課後児童クラブ)	2	80		
	演習	保育実習Ⅲbの事前準備、事後指導を行う	保育実習指導Ⅲb(児童福祉施設)	1	16		
	演習	保育実習Ⅲcの事前準備、事後指導を行う	保育実習指導Ⅲc(障がい児・者施設)	1	16		
	演習	保育実習Ⅲdの事前準備、事後指導を行う	保育実習指導Ⅲd(児童館・放課後児童クラブ)	1	16		
教養科目	外国語、体育以外の科目	講義	日本国憲法、とくに人権規定について学ぶ	日本国憲法	2	30	
		演習	子どもの遊びと文化の基本的な考え方と技能を理解し、修得する	子どもと遊びの文化Ⅰ(入門)	1	16	
		演習	保育者の子どもの遊びへの関わりについて学ぶ	子どもと遊びの文化Ⅱ(遊び・プレイワーク)	1	16	
		演習	情報機器の操作及び情報化社会の諸問題について学ぶ	情報教育入門(機器操作を含む)	1	16	
	演習	情報機器を利用した情報収集などを学ぶ	情報リテラシー演習	1	16		
外国語	演習	英語の読解、基礎的事項を学ぶ	英語	2	30		
体育	講義	運動・スポーツ・体力などの概念について学ぶ	体育(講義)	1	16		
	実技	運動・スポーツの仕方や進め方について学ぶ	体育(実技)	1	30		
就職支援	演習	基礎的なキャリア形成について学ぶ	キャリアアップ教育Ⅰ	1	16		
		実践的なキャリア形成について学ぶ	キャリアアップ教育Ⅱ	1	16		
		就職活動に必要な知識について学ぶ	キャリアアップ教育Ⅲ(安全衛生講義3時間を含む)	1	24		
		就職活動に必要な知識について学ぶ	キャリアアップ教育Ⅳ(働くことの基本ルールに関する講義3時間を含む)	1	16		
本学独自科目	演習	実習の意義・目的等、実習の概要について学ぶ	実習入門	1	30		
		保育実習や保育技術と関連付け、大学での学び方を深め、実践する	保育基礎ゼミⅠ	1	30		
		保育実習や保育技術と関連付け、大学での学び方を深め、実践する	保育基礎ゼミⅡ	1	30		
		実習での学びを振り返り、問題意識をまとめる	保育研究ゼミ	1	16		
				訓練時間総合計	1,618時間		
学科	1,276時間	実技	270時間	就職支援	72時間		